

地域の「景観」を考える

日本シルクロード学びあい講座・港都横浜編
北仲スクールにようこそ

東海大学／北仲スクール
水島久光 2011/10.29

北仲スクール（「横浜文化創造都市スクール」）

- * 2009年9月、〈横浜〉に集う7つの大学－横浜国立大学、横浜市立大学、東京藝術大学、神奈川大学、関東学院大学、東海大学、京都精華大学が協定に調印し、日本の近代化の熱を今に残す歴史的建造物「北仲ブリック」（旧帝蚕倉庫）内に新たに誕生したサテライト・スクール。
- * 「街に開かれた、もう一つの大学」－都市文化創造と都市デザインを2本柱にカリキュラムを構成。授業のほかにも公開講座、ワークショップ形式の講座などが開かれます。参加各大学は、この事業を通して、未来の都市文化創成・都市デザインの担い手となる人材の継続的育成を目指す。

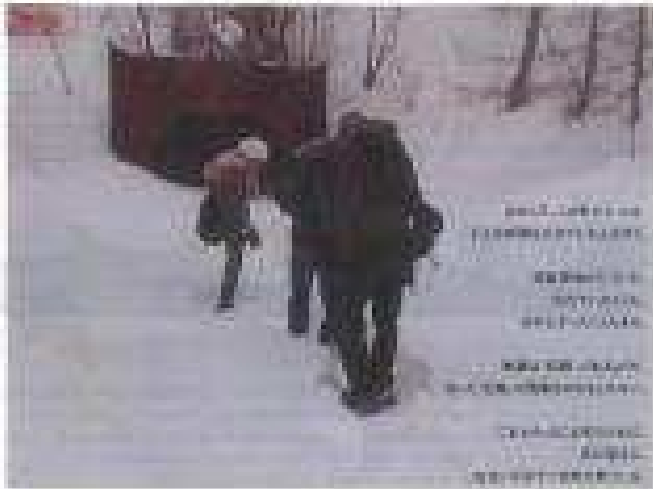


「景観」アーカイブ論

- * 地域において、映像を介して過去と向き合う実践はどのように行われるべきか。横浜を基点に、北海道夕張市、埼玉県川口市、長野県上田市などのケーススタディーを通じて、地域の記憶と街づくり、市民参加などのプログラムのあり方を考えていく。古い映像資料の収集に関する考え方についても議論していきたい。
- * アーカイブと向き合うことは、映像資料を「群」として捉え、分析から実践へと循環する思考とコミュニケーションのサイクルを作り出すことを意味する。一つひとつの映像は過去のものであっても、それに向けるまなざしは「現在」のものである。この間にある距離、時間の堰き止め方、イメージと言葉の関係などにも言及していきたい。



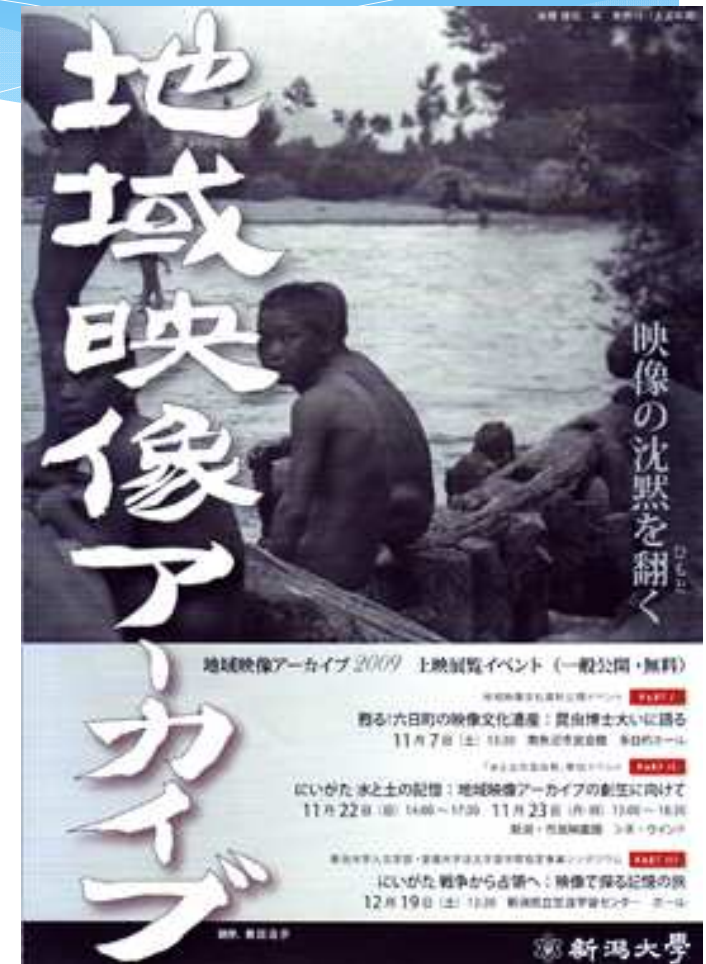
いくつかのプロジェクト



北海道
夕張アーカイブス
プロジェクト
(左)



新潟大学
地域映像アーカイブ
プロジェクト
(右)



いくつかのプロジェクト

* みんなでつくる横濱写真アルバム



http://www.yokohama-album.jp/

いくつかのアプローチ

* (1) 観る⇒訪ねる⇒イメージを重ねる

* 夕張；「炭都夕張の記憶×映像アーカイブ実践（2010）」



最後のマラソン大会
(地底の葬列)



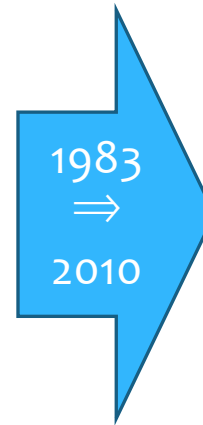
石勝線新夕張駅開通
(飛翔夕張)



「地底の葬列」(HBC)
(北炭夕張新鉱)



「飛翔夕張」(夕張市)
(三菱南大夕張炭鉱)



いくつかのアプローチ

* (2) 観る⇒考える⇒語り合う

* 広島；「みんなでテレビを見るワークショップ（2009）」



番組の中で注目した点を書き込んだ付せんを模造紙に張る参加者（12月20日、広島市中区の市まちづくり市民交流プラザ）；中国新聞

人が編集ソフトの代わりになって要素を書き出しタイムライン
カーソル



原爆スラムを壊して建てられた基町アパート



◎この史代『夕凧の街 桜の国』双葉社、p.13

いくつかのアプローチ

* (3) 新しいメディアをつくる

- * 横浜；「北仲カフェ」「カレッジ・ワンセグ放送局」「横浜写真アルバム」の活用；2010～2011)



磯子区禅馬川（1975頃）
（©久男@ダンスの先生 さん）
の写真をもとに、現地を訪ね中継



現在は、エリア・ワンセグ放送の
コンテンツ素材として
どのように活用するか検討中

今回の上田＝横浜「学びあい講座」への期待

- * 【景観】を考えるー公共性と歴史性の交点
 - * 町の姿は、単に現在の『幸福』に寄与するだけのものではなく、共同体的人格形成に欠くことのできない構成素でもある（水島久光「アーカイブ時代の地域と放送」『放送文メディア研究7』2010）
 - * 風景は人間の視線のうちにあるものではない、それは事物の現実のうち、つまり私たちと環境との関係のうちにある・・・風景の現実は、じっさい歴史上のある瞬間にうまれたからである（オグユスタン・ベルク『風景という知』2002＝2010）
 - * ※参考「通態的理性」の提唱

今回の上田＝横浜「学びあい講座」への期待

- * 【産業の系】
 - * 近代産業の“生態系”の変化とまちの姿
- * 【時代の相／層】
 - * 敷居と肌理がある
- * 【地域のファサード（façade）と後ろ姿】
 - * 街の姿の立体化
- * 【外からの目＝内からの目】
 - * 互いに認め合う＝発見しあう→コミュニケーション